

32 成果を生み出す会議の進め方研修

【合同研修】

～メンバーの力を最大限に引き出すスキル～

目 的	会議（オンラインでの会議を含む）やワークショップの場などにおいて、合意形成を図ったり、意思決定を行うための支援者（ファシリテーター）としての「議論の進め方の手法」を学ぶ。			
内 容	(1) より良い会議を生み出すための手法を学ぶ。 (2) ファシリテーションとファシリテーターについて理解する。 (3) 対話や合意形成の手法について学ぶ。 (4) オンライン会議を円滑に進めるためのコツを学ぶ。			
実施年月日	令和6年10月23日（水）～24日（木）	定 員	36名（市町村職員10名 県職員26名）	
対 象 者	（市町村） 係長等の職員 （県） 中堅職員・係長級キャリアアップ研修対象者で、受講を希望する職員			
実施場所	自宅、会議室等のオンラインでのグループワークができる場所			
推 薦 期 限	令和6年 9月17日（火）	《第12回》	経 費 内 訳	内訳表1
指定ホテル	-		そ の 他 留 意 事 項	-
研 修 講 師 （プロフィール）	<p>【加留部貴行事務所AN-BAI 代表/九州大学大学院統合新領域学府 客員教授 加留部 貴行（かるべ たかゆき）氏】</p> <p>1967年 山口県生まれ 1990年 九州大学法学部卒業 西部ガス（株）入社（人事、営業、新規事業部門） 2001年 福岡市派遣（NPO・ボランティア支援推進専門員として） 2007年 九州大学へ出向 （大学改革プロジェクト。ファシリテーション導入を通じた教育プログラム開発や学内外プロジェクト） 2011年 独立 現在に至る</p> <p><主な著書>：『参加したくなる会議のつくり方』（ぎょうせい） 『チームビルディングー人と人を「つなぐ」技法』、 『教育研修ファシリテーター』（ともに共著・日本経済新聞出版社）</p>			
受 講 者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・対面ではかできないと思っていたグループワーク等がオンラインでもできることに驚きました。会議を有意義に進めていくことの準備の重要性や可視化の重要性を実感し、今後の業務に活かしていきたいと思えます。 ・会議の準備段階において自分が意識できていなかったこと（形態・空間演出等）について、学ぶことができた。また、オンラインでホワイトボードを初めて使用してみて、可視化のメリットの大きさを感じたので、今後の会議等で活用していきたい。 ・初めてオンラインでも十分な合意形成をはかることができることが実感できた。 ・目的意識を持って会議を開く大切さを再認識するとともに、時節柄ウェブ会議の工夫を主材料に講義が行われ、とても学びが多く非常にためになった。 ・これまで会議は主催も参加も苦手に感じていた会議が楽しみなものになった。グループワークも何度も行ったが、参加者との距離はWEBということを感じさせないほど縮まった。 			
備 考				

時 間 割

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
		8:50	20	30					30	
1 日 目	接続 テスト	オリ エン テー ション	1. これまでの会議をさらに振り返る 2. ファシリテーションとは 3. 準備の基本			昼 食	4. 対話の基本 5. 可視化の基本 6. 合意形成ワーク			
2 日 目	接続 テスト	7. オンラインという場の特徴 8. オンラインの場づくりのコツ 9. オンライン会議を体感する			昼 食	10. 総合実践ワーク 11. 多様な対話の場づくりをめざして			閉 講	
		8:50	15						15	
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。